読売新聞　R6.2.10

賞状を持つ垂水高校の生徒ら

垂水高のアイデア 大賞

県コンテスト 食で健康、地域活性へ

地域の課題を解決するアイデアを評価する「かごしまを元気にする学生政策アイデアコンテスト」で、県立垂水高（垂水市）が大賞を受賞した。

コンテストは県が主催。公表された統計データを生かし、地域の現状や課題について解決するためのアイデアを募集。６回目となった今回は10組が応募した。

大賞に選ばれたのは、同校普通科の３年生６人が発表した「たるみず”食”で元気プロジェクト～食と健康で創るまち～」。垂水市に関する統計を基に、市民の塩分摂取量が多く、市内の病院の病床数が減っている点に着目。地元の給食センターが、市内の学校や企業に栄養バランスが取れた給食を提供する仕組みを提案した。

生徒たちは９日、県庁を訪れ、塩田知事にアイデアを発表した。同校の新村優里奈さん(18)は、「緊張したが、知事に『垂水市を盛り上げたい』という思いを伝えられた」と語った。